

2022年3月期決算補足資料

2022年4月28日
北海道ガス株式会社
代表取締役社長 大槻 博

2021年度決算の概要

売上高は、ガス販売量の増加に加え、
原料費調整制度による販売単価の上昇等により、連結・個別ともに増収
経常利益は、ガス販売量の増加等により、連結・個別ともに増益

北ガスグループ[°]（連結）〈2期ぶりの増収・8期連続の増益[経常利益]〉（ ）内は、前年同期比

売上高	1,269.5億 (+87.9億円、+7.4%)	経常利益	73.0億円 (+18.4億円、+33.8%)
営業利益	70.5億 (+19.6億円、+38.7%)	当期 [※] 純利益	52.3億円 (+9.4億円、+22.1%)

※親会社株主に帰属する当期純利益

北海道ガス（個別）〈2期ぶりの増収・6期連続の増益[経常利益]〉（ ）内は、前年同期比

売上高	1,070.7億 (+71.4億円、+7.1%)	経常利益	59.6億円 (+21.9億円、+58.5%)
営業利益	57.7億 (+23.1億円、+67.0%)	当期純利益	43.6億円 (+12.4億円、+40.1%)

ガス販売量

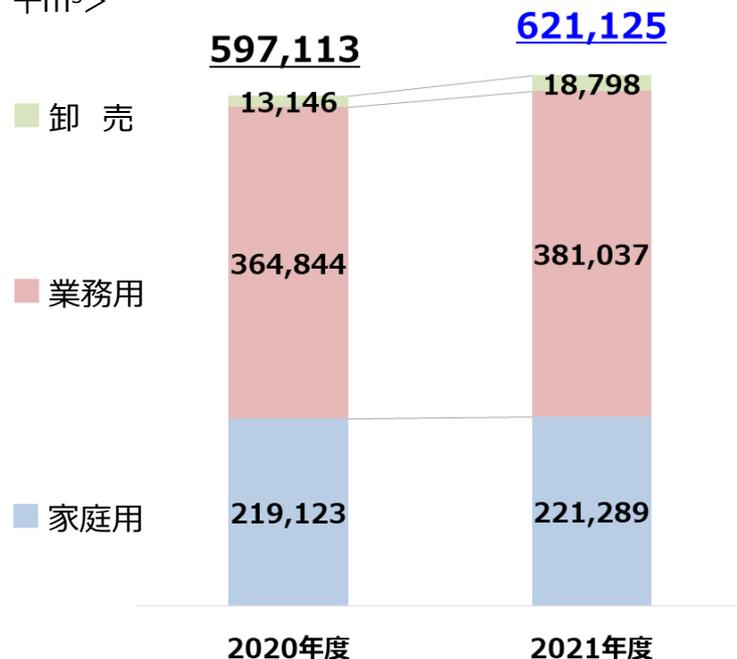
6億2千1百万m³（前年同期比 +4.0%）

家庭用を中心としたお客さま件数の拡大に加え、業務用の稼働率の向上により、販売量は増加

◆2021年度と2020年度の比較

- お客さま件数の増加：新築戸建のお客さま獲得が順調に推移し販売量は増加
- コロナ影響：家庭用は巣ごもり影響が継続、業務用は稼働率が向上傾向
- 気温影響：春先や秋口の気温が高く推移した影響により販売量は減少傾向

<単位：千m³>



◆2021年度と2020年度の比較

合計：+24,012千m³ (+4.0%)

業務用：+16,193千m³ (+4.4%)
新設物件の稼働、稼働率の向上

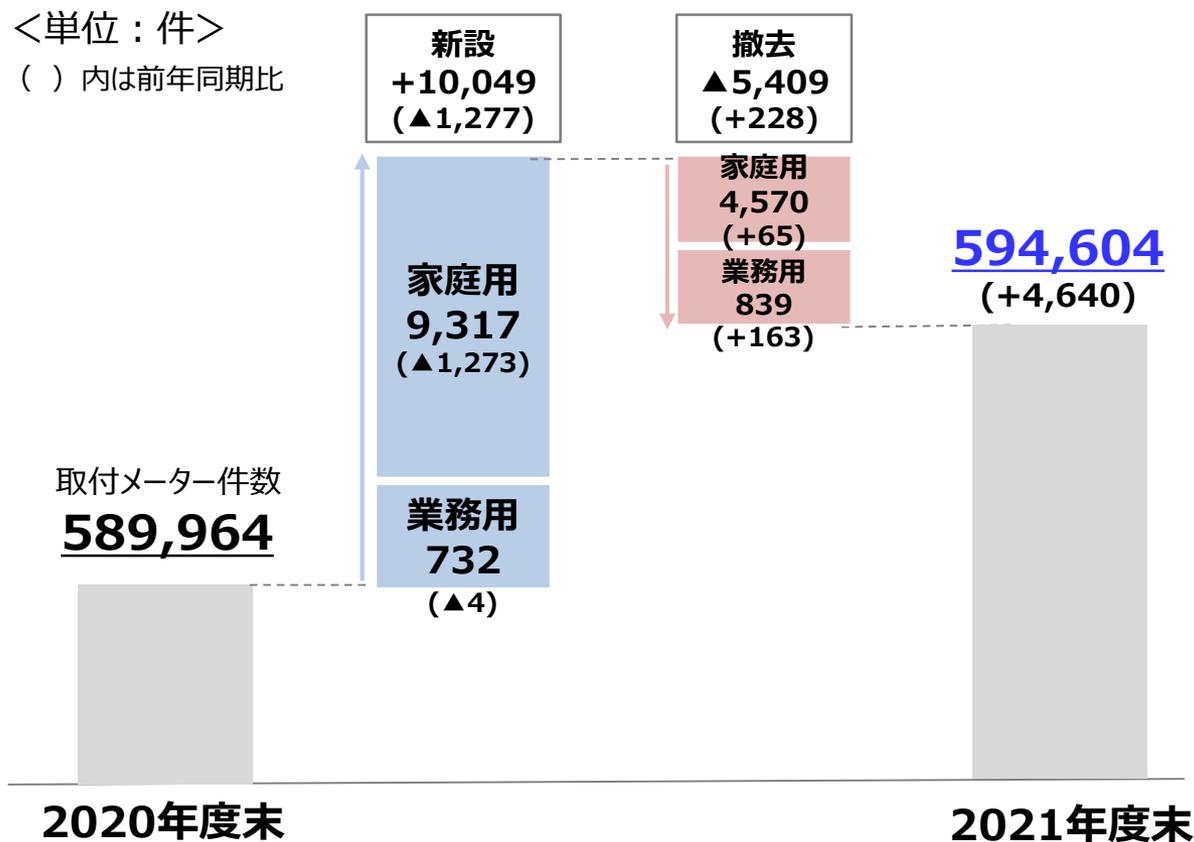
家庭用：+ 2,166千m³ (+1.0%)
お客さま件数の増加

主要計数 <ガス（お客さま件数）>

お客さま件数
(取付メーター件数)

594,604 件 (前年度末比 +4,640件)

- 新築戸建のお客さま獲得が順調に推移したことにより、新設件数は7年連続で1万件を超える
- お客さま件数は4,640件増加し、9年連続の純増



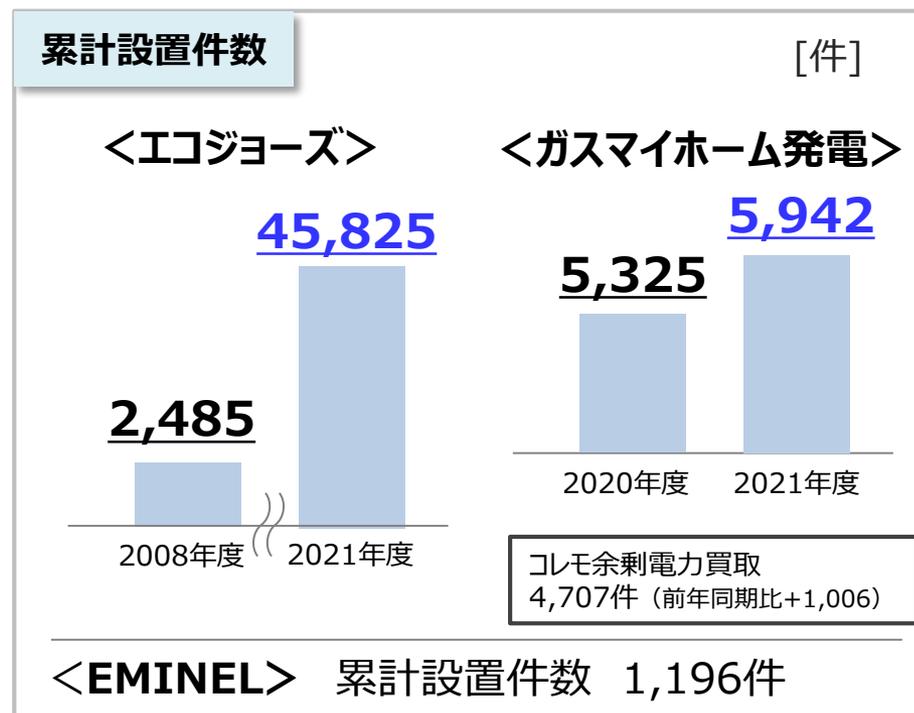
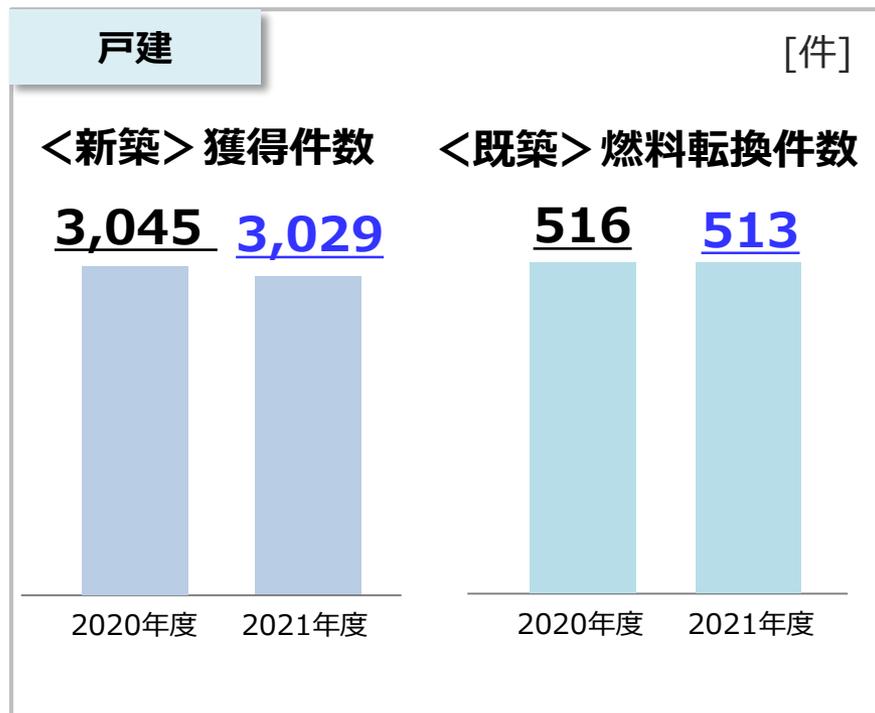
営業概況 <ガス 家庭用>

<新築>

- 戸建では、前年並みの3,029件を獲得、着実に件数を積み重ね、エコジョーズの累計件数は4.5万件に
- 災害対応力のPRにより、ガスマイホーム発電は5,942件まで増加、コレモ余剰電力買取は4,707件まで拡大
- 都市ガス※獲得シェア率が戸建で90%、分譲マンションでは95%超に
※建設地の近くまでガス管が敷設されている場合における都市ガス採用率

<既築>

- 天然ガスへの燃料転換が進展、燃料転換件数は5期連続で500件を超える



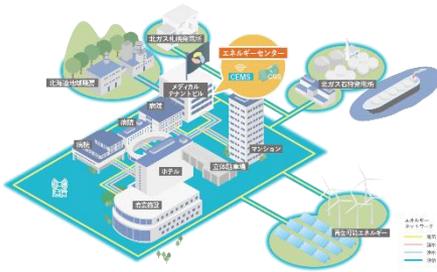
- 食品工場、物流センター、ホテルなど幅広い分野のお客さまを獲得
- 省エネやBCPニーズの高まりから、大学や病院、食品工場等でコージェネレーションの採用が拡大
- 飲食店支援活動 北ガスグルメパートナー加盟店は全道877件へ拡大

天然ガスコージェネレーション

- ◆ 震災以降、停電対応型コージェネレーションの採用が増加

2021年度 開発実績
1,890kW

- ◆ 新さっぽろ駅周辺へのエネルギー供給
2022年6月の運用開始を予定



LNGサテライト供給

- ◆ 都市ガス供給エリア外の全道のお客さまへ供給
乳業メーカーの加工乳量増加に伴い、LNG販売量は過去最高に

累計お客さま件数 27件



北ガスグルメパートナー

- ◆ 加盟店舗数は全道877件に

2022年6月から北ガスグルメチケットを電子化
加盟店舗をさらに伸ばし、飲食店の営業応援を拡大

2022年度 1,000店舗へ



主要計数 <電力>

お客さま件数

209,767件
(前年度末比 +16,134件)

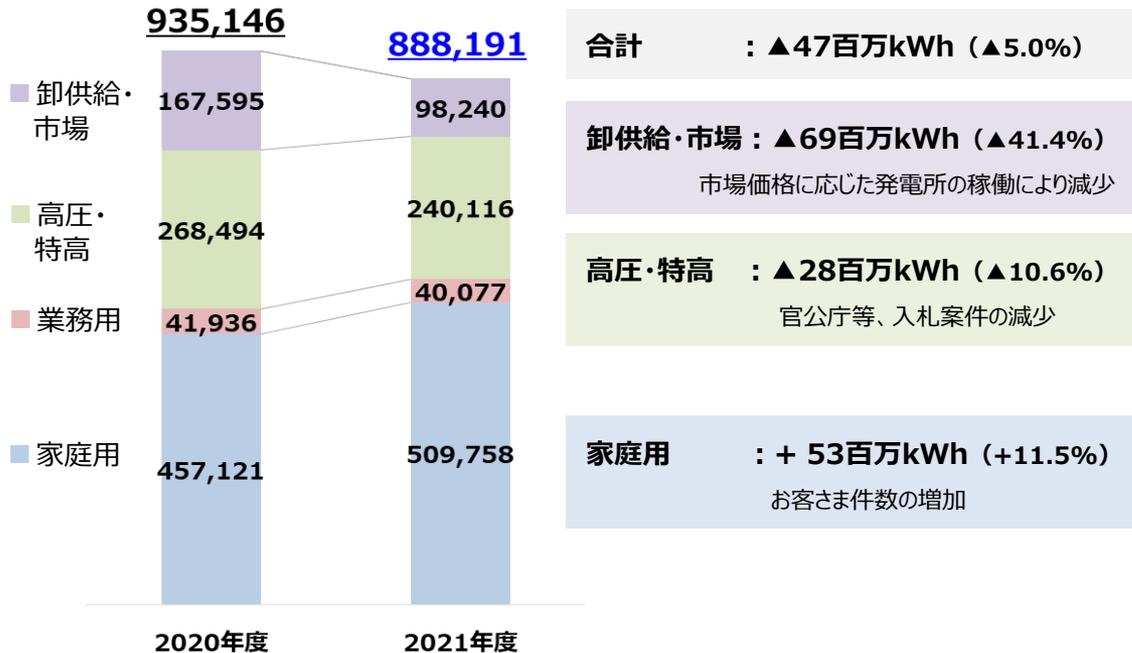
電力販売量

8億8千8百万kWh
(前年同期比▲47百万kWh、▲5.0%)

- WEBマーケティング等のデジタルを活用した営業により、家庭用分野のお客さま件数は堅調に推移、ガスと電気のセット契約率も上昇
- 販売量は家庭用で増加したものの、高圧・特高や市場への供給量の減少により減

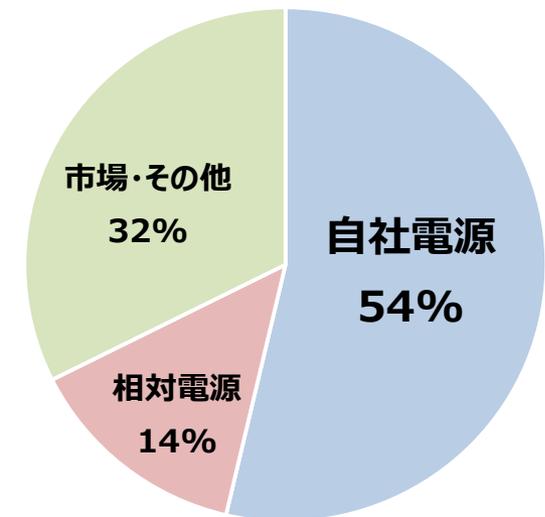
<販売量内訳>

(単位：千kWh)



<2021年度の電源構成>

北ガス石狩発電所や札幌発電所による高い自社電源比率を確保



【kWhベース】

個別

2期ぶりの増収・6期連続の増益

- ・ガス販売量の増加に加え、原料費調整制度による販売単価の上昇等により増収
- ・ガス販売量が前年同期比4.0%増加したこと等により増益
- ・経常利益は、前年同期比58.5%増の59億円

(百万円)

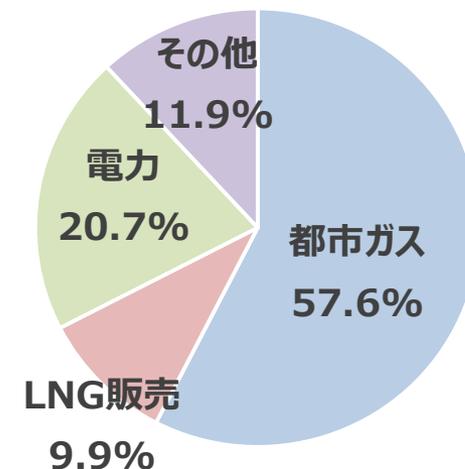
	当期	前年同期	増減	増減率	主な理由等
売上高	107,076	99,933	+7,142	+7.1%	・ガス販売量の増加 ・原料費調整制度による販売単価の上昇 等
営業利益	5,771	3,456	+2,314	+67.0%	・ガス販売量の増加等 ・5期連続の増益 (過去最高益)
(営業外損益)	189	305	▲115	▲37.7%	・受取配当金の減少等
経常利益	5,961	3,761	+2,199	+58.5%	・6期連続の増益 (過去最高益)
(特別損益)	-	540	▲540	▲100.0%	・前年は都市計画に伴う道路用地の売却等
当期純利益	4,360	3,112	+1,248	+40.1%	・2期連続の増益 (過去最高益)

個別

都市ガスは販売量の増加や原料費調整制度による販売単価の上昇等により増収。

電力事業が高圧販売量や市場供給量の減少に加え、収益認識基準の適用影響等で減収となったことで、都市ガス売上の構成割合は57.6%へ増加（前年同期比+6.6%）

<構成比>



(百万円)

項目	当期	構成比	前年同期	構成比	増減	増減率
都市ガス	61,624	(57.6%)	50,990	(51.0%)	+10,633	+20.9%
LNG販売	10,583	(9.9%)	8,025	(8.0%)	+2,558	+31.9%
電力	22,140	(20.7%)	26,852	(26.9%)	▲4,711	▲17.5%
工事・器具その他 (LPG等 附帯事業含む)	12,728	(11.9%)	14,065	(14.1%)	▲1,336	▲9.5%
合計	107,076	(100%)	99,933	(100%)	+7,142	+7.1%

連結

2期ぶりの増収・8期連続の増益

個別決算の増収に加え、グループ会社のガス機器等の器具販売やリフォーム工事が好調だったこともあり、売上高は前年同期比+7.4%増。経常利益は同33.8%増の73億円

(百万円)

	当期	前年同期	増減	増減率	主な理由等
売上高	126,957	118,161	+8,796	+7.4%	・ガス販売量の増加及び販売単価の上昇
営業利益	7,053	5,086	+1,967	+38.7%	・ガス販売量の増加等 ・5期連続の増益（過去最高益）
経常利益	7,303	5,456	+1,847	+33.8%	・8期連続の増益（過去最高益）
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,237	4,289	+947	+22.1%	・前年度は特別利益540百万円計上 ・6期連続の増益（過去最高益）

◇売上高 内訳（セグメント別）

(百万円)

項目	当期	構成比	前年同期	構成比	増減	増減率
ガス (都市ガス、LNG販売)	72,734	(57.3%)	59,545	(50.4%)	+13,188	+22.1%
電力	21,997	(17.3%)	26,726	(22.6%)	▲4,729	▲17.7%
エネルギー関連 (工事・器具、LPG他)	30,571	(24.1%)	30,211	(25.6%)	+359	+1.2%
その他	1,655	(1.3%)	1,678	(1.4%)	▲22	▲1.3%
合計	126,957	(100%)	118,161	(100%)	+8,796	+7.4%

利益剰余金の増加により自己資本比率は35.6%に上昇

(億円)

項目	当期	前期末	増減	
総資産	1,604	1,512	+92	・増収に伴う売掛債権の増加
負債	1,012	969	+42	・仕入債務の増加
純資産	591	542	+49	・当期純利益による利益剰余金の増加

項目	当期	前期末	増減
有利子負債 (億円)	701	736	▲34
自己資本比率 (%)	35.6	34.5	+1.1

期末 1株あたり30円配当 (5円増配、年間60円)

	1株当たり配当金		
	期 末	第 2 四半期末	合 計
2022年 3 月期	<p><u>30円00銭</u></p> <p>(普通配当30円00銭)</p>	<p>30円00銭</p> <p>(普通配当25円00銭) (記念配当 5円00銭)</p>	<p><u>60円00銭</u></p> <p>(普通配当55円00銭) (記念配当 5円00銭)</p>
2021年 3 月期 (前期実績)	25円00銭	25円00銭	50円00銭

- ガスについては、新築物件での獲得シェアの維持・拡大や既築物件での燃料転換、ガスマイホーム発電やコージェネレーションの獲得等、着実にガス需要を積上げ、ガス販売量は6億4千万m³を計画
- 電力については、低圧分野を中心に競争が激化する中でも、デジタルを活用した営業等により、お客さま件数を22.8万件まで拡大し、電力販売量は9億2千万kWhまで伸長させる

() 内は前年同期比

ガス	販売量	6億4千万m³	(+19百万m ³ 、+3.0%)
	取付メーター件数	59.9万件	(+4千件、+0.8%)
電力	販売量	9億2千万kWh	(+36百万kWh、+4.1%)
	お客さま件数	22.8万件	(+1.8万件、+9.0%)

- ・ 売上高は、ガス・電力の需要獲得に伴う販売量の増加に加え、原料費調整制度の影響等により、前年と比べ290億円増の1,560億円を計画
- ・ 経常利益は、電力市場価格の上昇に伴う電力事業の減益が見込まれるものの、ガス・電力の需要増により、連結経常利益として75億円を計画

北ガスグループ° (連結)

北海道ガス (個別)

売上高	1,560億円 (+290億円)	売上高	1,360億円 (+289億円)
経常利益	75億円 (+2億円)	経常利益	65億円 (+5億円)
当期純利益	53億円 (+1億円)	当期純利益	48億円 (+4億円)

(参考) 原油価格・為替レート的前提

原油価格：100ドル/バレル・為替レート：120円/ドル

設備投資 (連結)

277億円
(+156億円)

設備投資内訳【億円】

製造 (LNG基地等)	87	附帯 (再エネ・熱供給等)	67
供給 (ガス導管等)	86	無形固定資産 (DX等)	31
業務 (ファシリティ等)	6	合計	277

CO₂クレジット 50万トンの取得

◆取得目的

カーボンニュートラルLNGやカーボンオフセットした都市ガスとしてお客さまへの供給等に活用。低炭素・脱炭素社会の実現に向けた取り組みを加速

◆CO₂クレジットとは

森林管理（植林や間伐等）、再エネ導入、省エネ機器導入等により実現できたCO₂削減・吸収量を定量化し、取引可能な形態にしたもの



稼働済みの太陽光発電、風力発電設備の取得



栗山太陽光発電所



稚内風力発電所



芦別太陽光発電所

発電規模	: 499kW	2,300kW	500kW
年間発電量	: 約65万kWh	約476万kWh	約60万kWh
取得日	: 2021年6月1日	2021年10月1日	2021年11月1日

住宅賃貸事業 第1号物件「EFUTE北3条」の完成



あなたをつくる、新しいくらし。

EFUTE
エフユート

"Eco-friendly Future with Energy"
環境に優しいエネルギーで未来を拓く

- ◆ 物件概要
- 建設地 : 札幌市中央区北3条東5丁目
- 戸数 : 総戸数 27戸
 - 2LDK (約60m²) 17戸
 - 1LDK (約40m²) 10戸
- 建築概要 : 地上5階建 (施工面積 約2,000m²)

都市対抗野球全国大会出場



◆日本選手権全国大会出場
日本選手権北海道地区予選大会で2連勝し、北海道代表として、初めて全国大会へ出場

◆都市対抗野球全国大会出場
第92回都市対抗野球大会北海道地区二次予選で3連勝し、北海道（札幌市）代表として、初めて全国大会へ出場